玉造中だより
楽し学舎（まなびや）
No. 25
R2・10・26

「かすみ祭」with コロナ 終わる！

1年1組、2年2組、3年3組　金賞！

二十四日、令和二年度「かすみ祭」が本校体育館で行われました。今年度は新型コロナウィルス感染拡大によりこれまでとは全く違った形式でのかすみ祭」になりました。当日は、一学年から学年ごとに合唱と発表を行い、それに伴い保護者も各家庭一名という入場制限があり、果たしてどのような状況の中での「かすみ祭」になるのか、先が見えない状況の中での「かすみ祭」になりました。

各学年の色が出た学年発表

各学年とも、合唱コンクールの前に学年発表が行われました。日頃、授業で学んだことを発表する形で行われました。一年生は、総合的な学習の時間に行っている「キャリアワーク」についての発表でした。その中で、「何のために勉強するのか？」「働くって何？」について自分たちが今考えていることを発表してくれました。

3学年の合唱コンクールの様子

二学年は社会科で取り組んでいた「いばらきっこ郷土検定」を各学級から代表者が解答者として早押しのクイズバトルに挑みました。白熱した戦いと地元のこれまであまり知られていなかったことに触れることができ、大変盛り上がりました。

三学年は総合的な学習の時間に「行方シティプロモーション」の指針に基づき、行方市の魅力を発信していくかに取り組んでいます。そのプレゼンを代表の生徒がしてくれました。市役所に勤務している保護者からは「ぜひこれから市の方にも参考にしたい。」と声を聞くことができました。

一学年の発表の様子

このように、各学年の発表はそれぞれの学年の色が十分に出て、とても充実した内容でした。

白熱の合唱コンクール

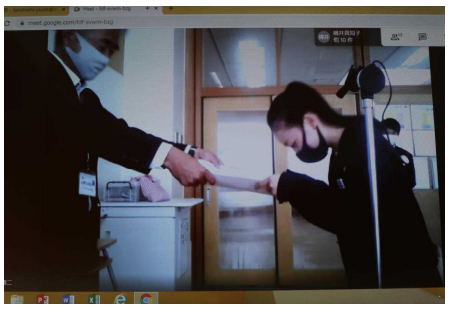
各学年とも発表の後に行われた合唱コンクール。どの学年とも、どの学級ともすばらしい発表でした。

一年生は初めてのことで、緊張している様子が見ている方にもヒシヒシと伝わってきましたが、それでもみんな一生懸命歌っていました。練習が始まった頃はどうなるのか心配されましたが、一年生らしい歌声を聞くことができました。

二年生は、今年一番の成長株でした。どの学級もすばらしい歌声。声量も十分にあり、すばらしいハーモニーでした。審査員からもどの学級も金賞にしてもおかしくないほどの僅差だったと言う話を聞くことができました。

そして三年生。玉中の顔としてのプライドと中学校生活最後の合唱への思いがどの学級からも伝わってきました。見ていた保護者の中には、三年生の歌声に思わず目頭を熱くしていた方もたくさんいました。

今年の「かすみ祭」は昨年と大きく変わったけれど、短い練習時間の中でもすばらしい、そして充実した内容になりました。


リモートで行われた表彰式

「New road」というテーマの通り、新しい「かすみ祭」の道が開けたように思えました。生徒のみなさん、お疲れ様でした。

よく頑張りました。そしてありがとう！
男子16位、女子17位、総合18位

二十一日、令和二年度県東地区駅伝大会が神栖市の神之池公園周回コースで開催されました。当日は天気にも恵まれ、絶好のコンディションの中で二十六校が大会にのぞみました。

玉造中からも男子と女子チームが参加しました。

みんないい笑顔です

女子チームは、序盤から中盤の順位を確保したレースになりました。

四区と五区は三年生が担当し、最後まで全力で走り、第十七位でゴールしました。また、男子チームは一区で上位に食い込み、その後少し順位を落としましたが、大きなブレーキもなく、第十六位という結果になりました。

女子のスタート

男女とも一人一人が自己記録に迫るタイムで、昨年の結果を大きく上回ることができました。

ここまで短い練習期間でしたが一生懸命取り組んでくれた選手のみなさん、そして裏方にまわって頑張ったみなさん、本当にご苦労様でした。

女子の快走

現在の二年生には、来年こそは十位以内に入って県大会に出場して欲しいと思います。

編集後記

「ファイト！」

最近、某衣料販売会社ユ○○○のCMで流れているこの曲をご存じでしょうか？この曲はシンガーソングライターの中島みゆきさんの曲で「ファイト！闘う君の唄を闘わない奴等が笑うだろうファイト！冷たい水の中をふるえながらのぼってゆけ」という歌詞がある。この曲は今から三十年くらい前、ラジオの深夜放送のパーソナリティーをしていた中島みゆきさんに、一人のリスナーから手紙が届き、それをもとにしてつくられた曲です。その内容は「中卒」というカベにぶつかり、世の中からなかなか一人前として認めてもらえない一人のリスナーが社会への憤りを訴えてきた内容に対してつくった曲です。

これから、三年生にとってはこの「ファイト」のフレーズが身に染みてくることと思う。「受験」という大きなカベにぶつかり、必死に自分なりに勉強していても、親や周りの大人などから「がんばれ、がんばれ」と言われ続け半ばヤケになっている。入試がいよいよ近づいて、大丈夫かなと相当なプレッシャーもある。でも、そんな中でも確かに言えることは、君たちは「受験」というカベに向かって毎日闘っているということです。今のこの状況にあきらめたり、投げ出してしまったら負け。

ある有名な人がこんなことを言っていました。「成功の反対は失敗ではなく、チャレンジしないことだ。」チャレンジするから成功もするし、失敗もする。失敗してもそれはダメなことではなく、価値があるので、チャレンジしなければ何もそこからは生まれないのだ。ファイト！

（文責：小野口　吉政）